

対象年度	令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート						
事務事業名	友愛メルヘン橋管理事業					予算事業名	施設管理経費		
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	建築基準法, 耐震促進法
			08	03	07	1101	経常経費		
総合計画体系	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)					事業の区分	主要事業		
	2-1計画的で魅力あるまちづくり(都市計画)								
	①計画的な市街地の形成					担当課係等	都市計画課		
事業期間	4友愛メルヘン橋の改修					住宅公園係			
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】					【事業開始のきっかけや他市の状況など】				
安全で安心な環境及び、魅力ある街づくりにより住みよい住環境の提供。					平成6年の供用開始より、施設管理及び関係法令に基づいた保守点検業務が必要となる。築20年以上経過し老朽化している場所も目立ち、今後も鉄道利用者及び市民の安全を図るため、改修工事などを行っていかなければならない。				
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】					【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>●エスカレーター改修工事</li> <li>●エスカレーター保守点検業務</li> <li>●消防設備保守点検業務</li> <li>●電気保安管理業務</li> <li>●清掃業務</li> <li>●除草及び剪定</li> <li>●エレベーター保守点検(EV完成後)</li> </ul>					結城駅を利用する通勤・通学する市民、結城市を訪れる観光客				
【令和3年度 事業内容】					【事業をとりまく環境の変化】				
●メルヘン橋エスカレーターステップリニューアル(南口)					建築後20年を経過し老朽化も進む中、令和2年に駅南に市役所新庁舎が建設され、益々自由通路であるメルヘン橋の利用は増えると考えられ、さらなる住みやすい住環境整備が必要であることから、快適に北口南口をアクセスできるようにエレベーターの設置や老朽化の改修を行う。				
【令和4年度 事業内容】					【令和5年度 事業内容】				
●エスカレーター消耗品部品交換 ●南北外壁改修工事					●エスカレーター消耗品部品交換 ●鳥害対策工事				

■事業費

		R01年度	R02年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	19,281	17,460			
歳入計(千円)		19,281	17,460			
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	10 需用費	2,329	3,079			
	11 役務費	126	127			
	12 委託料	6,760	6,874			
	14 工事請負費	10,010	7,380			
	17 備品購入費	56	0			
歳出計(千円)(A)		19,281	17,460			
伸び率(%)			-9.44			
備考	総合計画71ページ 予算書145ページ					

# 令和元年度行政評価シート

## ■指標

種類	指標名	単位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	改修工事の実施状況	回	目標	1.00	1.00	1.00
	駅利用者へ改修工事による安全対策		実績	1.00	0.00	0.00
	修繕工事	回	目標	6.00	6.00	6.00
	駅利用者に常に快適に使用できることを目標とする		実績	4.00	0.00	0.00
成果 指標	駅の利用者数	人/日	目標	3,000.00	3,000.00	3,000.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

## ■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	結城市の玄関口として利用され、令和2年には市役所新庁舎が南に建設され、今後、北口及び南口をつなぐ新庁舎へのアクセス道として利用者が増大することが予想され、利用者が安全・安心・快適に利用できるように努めなければならない。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市が管理している施設である。
	手段の妥当性	A 妥当である	機械設備となるため、法に基づく点検や管理をしなければならないことから、妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	利用者の安全を確保するための業務なので改善の余地はない。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	利用者に隔たりはない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	今後、庁舎移転に伴い利用者の増加が予想されることから、利用者の安全対策には、より重視した管理及び、駅の南北をつなぐ自由通路となることから、美観にも考慮した整備が必要である。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	維持管理が主となるため順調である。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
友愛メルヘン橋は築20年以上経過し、老朽化したところが目立つが修繕が間に合わない。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
担当課は、維持管理費や工事費のコスト削減はし、財源確保のため、国庫補助事業導入を視野に入れ、財政負担を少なくする。			

## ■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>方向性の具体的内容</p> <p>本施設は、建築後20年以上経過していることから安全確保のための老朽化対策が重要である。また、あらゆる方が快適に利用できるためにバリアフリー化も重要である。さらに、新庁舎が駅南に移転することから、益々、本施設の利用が増加することが見込まれるため、定期的かつ計画的な施設管理に努める。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり。</p>